

# スカウトみやぎ

2017  
No.43



## 特集

村井連盟長『年頭のご挨拶』

平成28年度精励スカウト県庁へ表敬訪問

地区活動・団活動紹介



# 年頭のご挨拶

日本ボーイスカウト宮城県連盟  
連盟長 村井 嘉浩



宮城県連盟の皆様には、新しい期待の中で爽やかに新春を迎えたこととお慶び申し上げます。さて、昨年5月には、本県で46年ぶりにボーイスカウト日本連盟全国大会が開催されました。二日間あわせて約3,000名のスカウトや参加者が会場の東京エレクトロンホール宮城や仙台市民広場に集い、大盛況に終えることができました。特に、東日本大震災からの復興と全国からの支援に対する御礼、そして未来への決意を込めた研修内容は、みやぎらしい大会としてアピールすることができました。また、ボーイスカウトの活動を体験を通して紹介するぼうけん広場は、県連盟の基本方針である「より良いスカウティングをより多くの青少年に」に基づいたものであり、大会を通して、県内の子どもや保護者など多くの方々にスカウト活動の理念や魅力を知っていただいたものと思います。これを機に、スカウト活動の輪が更に広がることを期待しております。

昨年末には、菊章を受章したスカウトや海外派遣スカウトに褒状を手渡す機会がありました。受章されたスカウトから、日頃の活動の様子等を伺いましたが、「そなえよ つねに」の精神に基づき、日頃から自分の課題に向かって努力している様子に感心いたしました。

これからの中学生、そして日本の未来を考えたとき、主役となるのは次代を担う青少年であり、その育成は社会全体で行っていかなければなりません。キャンプや奉仕活動など日々の活動を通して、スカウトたちは多くの経験を積み、その資質を高めていることだと思います。指導者の皆様には、スカウトがその力を存分に発揮できるよう、より一層の御指導をお願いいたします。

結びに、当連盟のさらなる発展と皆様方の御健康と御多幸を心からお祈り申し上げ、新春を迎えるにあたっての挨拶といたします。

## 平成28年度精励スカウト県庁へ表敬訪問

12月26日「平成28年度精励スカウト」として、菊章スカウトの千葉陽介さん（仙台第1団）・荒木陸雲さん（泉第1団）・阿部智貴さん（石巻第6団）をはじめ、6名の派遣スカウト、保護者、隊指導者、県連役員など計31名が県庁を訪問し、連盟長でもある村井嘉浩宮城県知事並びに県教育庁生涯学習課新沼課長より激励を受けました。村井知事からは、「菊章を取得すること、いろいろな大会に派遣されることは大変名誉な事だと思いますが、本人の努力もさることながら、ご家族の支えと指導者や関係者の方々の支援と協力があるからこそ、それぞれへの感謝の気持ちを忘れずに今後もスカウト活動に励んでください。」との言葉を頂きました。精励スカウトには村井知事より一人ひとりに記念のチーフリングが贈られました。写真撮影後、「ボイスカウト運動は非常に大切な活動と思っていますので、連盟長として運動に参加しています。」とのコメントに力づけられました。

今年度は精励スカウトの参加が9名でしたので、来年度はもっと多くのスカウトがこの表敬訪問に参加出来るよう期待したいと思います。



### ■2016年団クリスマス会

仙台第28団団委員長 今野 利夫

平成28(2016)年12月11日(日)仙台市富沢市民センター和室で、当団のクリスマス会が行われました。参加スカウトはチラシを活用して「わっかつづり」をつくり装飾、会場の雰囲気を



盛り上げました。新聞紙を使用したゲームや楽器を持ち込み、素敵なクリスマソングを奏で、会場からは大きな拍手です。また、当月23日夜に定禅寺通りで開催されます「サンタの森の物語」のパレード参加時に、賑わいをつけるためにマジックテープに鈴をつけたリストバンドを制作。サンタさんからのプレゼント交換など、楽しみの多い会となり笑顔を見せっていました。



## 地区活動紹介

### ■光のページェント「サンタパレード」に参加して

仙台地区総合委員長 柿沼 富雄

2016 SENDAI 光のページェントのメインイベント「サンタの森の物語」が 23 日夜、仙台市青葉区定禅寺通りにて開催されました。参加したのは、約 30 団体と一般公募の「市民サンタ」はじめとする約 800 名で、各々サンタクロースやトナカイに扮してパレードしました。その中で仙台地区のボーイスカウト 81 名と保護者、指導者を含めた約 110 名も光り輝く並木道を寒さにも負けずに行進しました。仙台地区で毎年このイベントには参加しており、ボーイスカウトを一般の方々にアピールする良い機会の一つとなっています。

尚、サンタパレードの様子は平成 28 年 12 月 24 日の河北新報と朝日新聞に掲載されました。



### ■菊章面接

仙台地区事務長 渡邊 裕

平成 28 年 11 月 20 日、仙台市中田市民センターにて仙台地区の菊章面接が行われ、仙台第 1 団ボーイスカウト隊の坂本直也さんと植野志之丞さんのお二人が保護者や仙台第 1 団ボーイスカウト隊の早坂隊長、乙訓仙台地区コミッショナーをはじめとする地区役員の方々の前で、作文「ボーイスカウトで得たもの」をそれぞれ読み上げ、菊章スカウトとしての決意を新たにし、出席者の承認と励ましを受けました。

【写真は左側が坂本さん、右側が植野さん】



### 「ボーイスカウトで得たもの」

仙台第1団ボーイスカウト隊 坂本 直也

小学校2年生の頃にボーイスカウトに入団し、実に7年間活動してきました。自分がボーイスカウト活動に参加して、沢山の事を学びました。礼儀正しさやキャンプ、ボランティア等を通じて、地域の人々との交流が深まりました。思いやりの心を持つようになった等、色々な事がありました。

その中で、この7年間で一番学び、片時も忘れなかった事があります。それは、「仲間の大切さ」です。学校、部活、社会に出ても、仲間という存在は必要不可欠です。しかし、その事を感慨深く教えられました。

僕は去年の7月、山口県で開催された第23回世界スカウトジャンボリーに参加しました。そこでは、世界各国からスカウトが参加し、12日間共に交流を深めました。最初は慣れない環境で不安でしたが、その祖その時でも仲間が支えてくれました。このジャンボリーで僕は、人種、言語等は関係なく、スカウトは皆仲間であり、兄弟であるという事を実感しました。

時に辛く、逃げ出したいと思った時が幾度もありました。けれども、傍らで仲間が励まし合い、どんな時でも支えてくれました。仲間の存在があるからこそ、自分は此所まで継続する事ができました。そして、5年間共に歩んできた、隊長、副長、保護者の方々には、言葉では言い表せない程の感謝があります。

これからも、「仲間との絆」を忘れず、今後の人生やベンチャー隊での活動等で尽力し、大きく貢献していきたいと思います。

### 「ボーイスカウトで得たもの」

仙台第1団ボーイスカウト隊 植野 志之丞

私は、ボーイスカウトをやっていて得たもので、一番は自分が社会人になる為の基礎だと思います。特に敬語です。社会に出て敬語を使えないと目上の人を不愉快にしたり、最悪クビにつながるかもしれません。敬語は人として大切なことなので、これからも学び、使えるようにしたいです。根性もボーイスカウトをやっていて、自然に身につきました。仙台第1団では「オーバーナイトハイク」と言って夜から朝にむけて30km歩く活動があります。寒くなったり、足が痛くなったり、眠くなったり、とても辛い活動です。でも、完歩することで根性がつきます。

仙台第1団では、もう一つ根性が鍛えられる活動があります。それは「グリーンバーキャンプ」です。これは、2泊3泊でベンチャー隊の先輩に指導してもらうキャンプです。先輩に怒られることで根性がつきます。他にはキャンプを通して視野が広がりました。自分の意見より良い方法があることをキャンプを通して実感しました。信頼もそうです。信頼がないと先輩に頼まれたり、後輩に頼んだりできません。信頼があってこそだと思うので、これからも信頼される先輩と後輩になりたいです。

世界ジャンボリーに行った時には、国際交流で自分の得意なコミュニケーション能力で、普通の人より早く交流ができました。自分は英語が全然話せなかったのですが、手などを使って伝えることができることが分かりました。これからのグローバルな社会に役立つような経験になりました。

ベンチャー隊に上進したら、これまで学んだことを活かして仲間の信頼が得られるように、そして「ちかいとおきて」が守れるようなスカウトになりたいです。

## 団活動紹介

### ■厳冬の1級ハイク

去る12月17～18日、1級章の総仕上げとなる1級ハイクを行いました。寒さも厳しく、日暮れも早いため、それらを配慮したハイクを行うことにしたものの、もう一つ何かと考えていたところ、石巻の永巖寺様のご協力がいただけたことになり、「1級ハイク～修行の旅」が始まりました。

略地図や課題を解きながら着いたところは、なんとお寺！指定された野営地は、お寺から少し離れた人気のないお不動尊。夕に朝に座禅と修行・・・。翌朝、厳冬のハイクを終えたスカウト達は「寒かったけれど楽しかった。」と晴れ晴れとした笑顔を見せてくれました。



「感覚がマヒするほど寒さを体感 1級キャンプ」 石巻第6団ボーイスカウト隊 橋本 怜旺

今回、1級キャンプを終えて一番印象に残っていることは、「感覚がマヒするほど寒さ」です。

しかし、そんな寒さの中でもうれしいことがあります。それは風が吹いている中で心配してくださった和尚さんが「寒さに耐えられなくなったら、このお不動尊に入って大丈夫だから。」と優しい言葉をかけてくださいましたことです。

そして、今回のキャンプで分かったこともあります。それはつま先が一番寒かったということです。なので、今度はつま先が冷えないように注意しようと思います。以上のことから、1級キャンプはすごく寒くて辛かったのですが、「寒さ対策」という新しい課題を見つけることが出来たキャンプだった思います。

### ■「第4回鹿島台キッズフェスティバル」に奉仕

1月28日、大崎市鹿島台鎌田記念ホールを会場に「第4回鹿島台キッズフェスティバル」が開催されました。これは、地元の子ども会育成連合会が主催するイベントで、鹿島台社会福祉協議会やまちづくり協議会、婦人会、家庭教育推進協議会など18の団体が連携・協力して行っているものです。毎年、鹿島台の偉人「鎌田三之助翁」の誕生日の1月に開催され、今年は約800名が集まりました。

「安全第一ゲーム」というロープを使ったゲームを担当しましたが、地域連携や会員拡充の良い機会もあり、来年もまた奉仕したいと考えています。

鹿島台第1団団委員長 安倍 毅彦

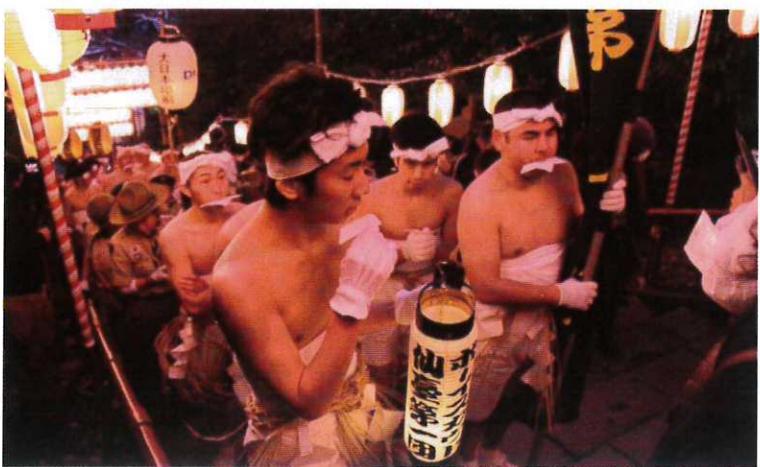


## ■どんと祭裸参りに参加して

仙台第1団事務長 東海林 隆一

小正月の伝統行事「どんと祭」が催された14日夜、仙台市青葉区大崎八幡宮では恒例の裸参りが行われました。今年は参加者が115団体計約3,000人。仙台第1団のスカウト19名(ローバー1名、ベンチャー4名、ボーイ14名)と指導者が行列に参加しました。

ボーイ隊は制服での参加でしたが、ベンチャーとローバー、指導者は晒を巻いて白装束に身を固めての参加でした。しんしんと冷え込む中、裸参りの行列と多くの参拝者が御神火を囲み、一年の無病息災や家内安全、東日本大震災からの早期復興などを祈りました。



小学生のキミへ いっしょに活動しようよ！

## ボーイスカウト募集中

【保護者の皆様へ】 「生命を尊重する心」「仲間と話し合って協力する心」「モラルや正義感」「自然や美しいものに感動する心」などが子どもたちの「生きる力」の基礎になります。

ボーイスカウトは、イギリス生まれ。世界中で認められている社会教育運動です。自然の中での体験や社会奉仕活動を仲間とともに行うことで、子どもたち一人ひとりの健全な心と体の成長につながっていきます。男の子も女の子も大歓迎です！

＜お問い合わせ先＞



### ■県連盟ホームページタスクチームよりお知らせ

平成25年7月に開設した県連盟ホームページは、毎月(1ヶ月間)のアクセス数が約700件と多くの方にご覧いただいております。各団・各隊での活動、地区での活動など、どんどんお寄せ下さい。

Facebookの情報もご覧いただき、「いいね!」「シェア!」を拡散してください。

◆県連盟ホームページ

<http://www.scout-miyagi.jp/>

◆県連盟 Facebook

「ボーイスカウト宮城県連盟」で検索

### ■編集後記

2017年も明けてもう1か月以上が過ぎました。今年、ボーイスカウトも変化のある年となりそうです。①「セーフ・フロム・ホーム」の登録前研修(eラーニング)が開始②ボーイとベンチャー部門の「進歩課程の改正」移行期間(平成29年9月1日から施行)③ウッドバッジ研修所がスカウトコースと課程別研修の構成となります。

(鈴木)

■発行 日本ボーイスカウト宮城県連盟

■発行日 平成29年2月1日

■編集 宮城県連盟組織拡張広報委員会

委員長 鈴木 美恵子

委員 白根沢 健 小野寺 康 松本 康男

渋谷 純 小野寺 純 大沼 茂雄

〒985-0841

宮城県多賀城市鶴ヶ谷1丁目4番1号

宮城県多賀城分庁舎内

TEL022-355-6265/FAX022-355-6267

HP URL <http://www.scout-miyagi.jp/>